



江戸時代は、なぜ260年も続いたの



えどばくふ ばくはんたいせい
江戸幕府が、幕藩体制を支えるために、いろいろな努力をしたからだよ。

江戸時代は、江戸幕府と200あまりの大名（藩主）が、人々を支配するしくみになっていた時代です。このしくみを、幕藩体制といいます。江戸幕府は、この幕藩体制を支えるために、いろいろな努力をしたのです。

幕府は、どんな大名よりも金持ちだった

江戸幕府は、全国のどんな大名よりも、広い土地をもっていました。将軍の直接の家来である旗本の土地もふくめると、たいへんな広さになります。江戸・京都・大阪などの都市や、長崎・堺などの重要な港、佐渡・但馬などの鉱山は、幕府の領地でした。また、貨幣をつくる権利も、幕府がひとりじめにしていました。幕府は、収入の多さの面で、どの大名よりも、強い立場に立っていたのです。

大名を幕府に従わせる努力をした

江戸幕府は、大名がかってに、城を築いたり、結婚したりすることを、禁止しました。また、参勤交代によって、大名に、将軍の家来であるという気持ちを、もち続けるようにさせました。幕府が決めたことにそむいた大名に対しては、きびしいばつをあたえました。これらの方法で、幕府は大名を従わせたのです。

身分制度と鎖国も、幕藩体制を支えた

江戸幕府は、武士を最高の身分とする身分制度によって、農民や町人をおさえつけました。さらに、その身分制度をおびやかすキリスト教が広まらないように、また、外国との貿易をひとりじめにするために、鎖国を行いました。

これらの努力が、幕藩体制を支え、江戸時代を260年あまりも続かせることになったのです。